

「なんだべ村」“村長”と文京学院大学学生による 福島県郡山市の魅力を紹介するイベントを開催 村長と学生ダンサーズが郡山市の伝統舞踊「ひよっこ踊り」で来場者を歓迎

文京学院大学は2016年4月17日(日)、都市農村交流の一環として、「いま！文京学院大学が熱い！！地域の声を届ける大学とその学生によるトークショー！」を埼玉県桶川市のパトリア桶川店にて実施します。本イベントには本学学生と福島県郡山市逢瀬町の農家民泊「なんだべ村」の“村長”である石井忠勝氏が登壇します。

イベント実施の背景：本学と福島県郡山市逢瀬町とのつながり

本学では、人間学部コミュニケーション社会学科と環境教育研究センターが、福島県郡山市と10年前から都市農村交流活動を行っています。具体的には、毎年1回農村を訪問して自然・文化・人々との交流をありのままに楽しむ余暇形態「グリーンツーリズム」、原発事故などの風評被害で売れなくなった福島県郡山市逢瀬町の「農産物代行販売」、風評被害や後継者不足に悩む農家(果樹園)と連携し、ワイン作りを通じて生産者と消費者を結びつけるための「福島ワインプロジェクト」などが挙げられます。今回のイベントは、こうした都市農村交流から生まれた本学と郡山市とのつながりをきっかけとし活動に参加してきた学生が、郡山市の魅力をお伝えしながら、東日本大震災の風評被害に悩む郡山市を応援するイベントです。

イベントの見どころと概要

今回のイベントでは、福島県郡山市逢瀬町から石井忠勝氏が登壇し、自身が営む農家民泊「なんだべ村」の魅力語るトークショー、学生と石井氏によるひよっこ踊り、逢瀬町の野菜販売などを予定しています。

主催：文京学院大学

日時：2016年4月17日(日)

(一回目)13:00～14:00 (二回目)15:00～16:00

会場：パトリア桶川店(通称:おけがわマイン) 3F イベントスペース
〒363-0022 埼玉県桶川市若宮 1-5-2

費用：無料

内容：1. オープニング:石井忠勝氏と学生ダンサーによるひよっこ踊り

2. 文京学院大学紹介

3. 農村交流「逢瀬プロジェクト」& なんだべ村の紹介

逢瀬が大好きな学生による逢瀬の魅力紹介と、石井忠勝氏による「なんだべ村」がどんなに素敵な場所であるかを伝えるトークショー

4. 学生による野菜のBOX販売「ポケットファームおうせ」の紹介

5. エンディング:石井忠勝氏と学生ダンサーによるひよっこ踊り



< イベントポスター >

< 文京学院大学について >

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5,000人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。